

設定バックアップ 取扱説明書

1 はじめに

追加型アプリケーションの設定バックアップの機能を説明しています。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

商標

マイクロソフト、Windows は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

その他の社名、または商品名等は、各社の登録商標、または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

ApeosPort は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。




2021年4月1日、富士ゼロックスは富士フイルムビジネスイノベーションへ社名を変更しました。

弊社はゼロックスあるいは富士ゼロックスブランドで販売した商品の保守サービスを今後も継続いたします。

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

マニュアルの表記

マニュアルでは、次の記号を使用しています。

- | | |
|---|--|
|  注記 | 必ず知っておいていただきたい情報、操作するときに必ず確認していただきたい情報を記載しています。 |
|  補足 | 操作の参考になる情報を記載しています。 |
|  参照 | 参照先を記載しています。 |
| 「 」 | フォルダー、ファイル、アプリケーション、機能などの名称や入力文字などです。また、マニュアルの参照先です。 |
| < > | キーボードのキー、オプション装置のボタンやランプを表します。 |
| [] | プリンター操作画面のタブ名、項目名、ボタン名、メニュー名、およびファイル名を表します。 |
| > | 操作パネルの表示順序です。[項目名] > [項目名] のように記載しています。 |
| 『 』 | 参照するマニュアルです。 |

2 概要

設定バックアップでできること

設定バックアップを利用すると、複合機の設定情報をコンピューターやクラウドに保存したり、ほかの複合機に複製したりできます。

本書では、設定情報をコンピューターやクラウドに保存することを「バックアップ」、保存した設定情報を複合機に複製することを「インストール」と呼びます。

次の種類のバックアップとインストールができます。

- バックアップ / インストール
- 定期バックアップ / 時間指定インストール指示
- デバイス設定編集ツールへのバックアップ / インストール

補足

- デバイス設定編集ツールを利用すると、バックアップした設定情報の内容を編集できます。詳しくは、『デバイス設定編集ツール ユーザーガイド』を参照してください。

システム構成

設定バックアップには、クラウド接続で利用する方法とオンプレミス接続で利用する方法があります。

補足

- ・クラウド接続を提供していない国 / 地域があります。

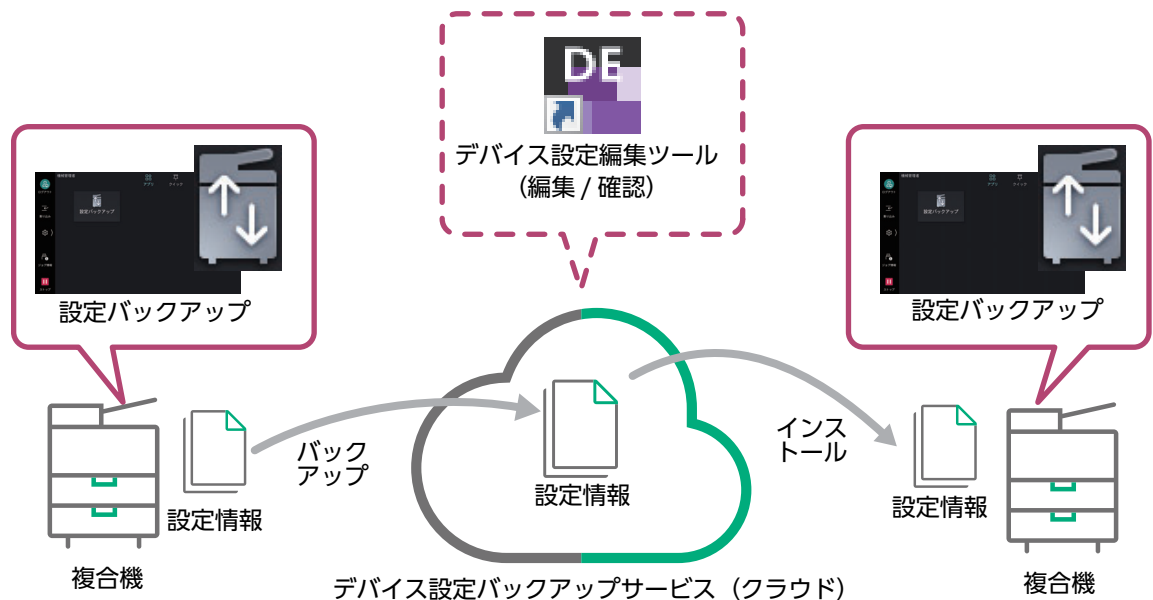
クラウド接続

複合機にインストールした設定バックアップで、クラウド上の「デバイス設定バックアップサービス」に設定情報を保存します。

また、クラウド上の「デバイス設定バックアップサービス」に保存された設定情報を、移行先の複合機にインストールします。

補足

- ・デバイス設定編集ツールを利用すると、バックアップした設定情報の内容を編集できます。詳しくは、『デバイス設定編集ツール ユーザーガイド』を参照してください。

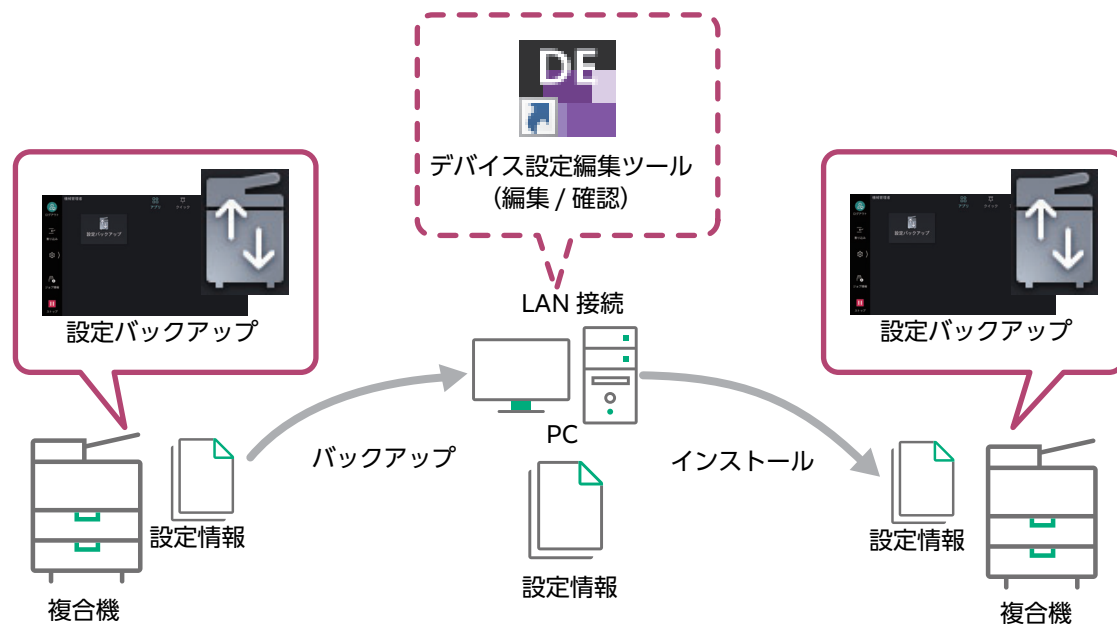


オンプレミス接続

クラウド接続できないユーザー環境の場合、移行元の複合機から移行先の複合機に、LAN 経由で設定情報を移行します。

補足

- ・デバイス設定編集ツールを利用すると、バックアップした設定情報の内容を編集できます。詳しくは、『デバイス設定編集ツール ユーザーガイド』を参照してください。



対応機種

バックアップまたはインストールできる機種については、弊社公式サイトをご覧ください。

https://www.fujifilm.com/fb/product/software/dev_set_bu/device.html

3 環境設定

補足

- ・本機能を使用するには、インターネットサービスで [システム] > [システム設定] の [プラグイン設定] をクリックし、[組み込みプラグイン機能] を有効にしてください。有効にすると、複合機の再起動を促すメッセージが表示されるので、メッセージに従って複合機を再起動してください。

動作環境

設定バックアップは、次の環境で動作します。

- ・設定バックアップ（本アプリケーション）がインストールされていること
- ・ネットワークに接続されていること

設定バックアップのインストール / アンインストール

設定バックアップは、複合機追加型アプリケーションです。

「富士フィルム BI ダイレクト」からダウンロードし、複合機にインストールして使用します。

富士フィルム BI ダイレクトからのダウンロードについては、弊社公式サイト「デバイス設定バックアップサービス」をご覧ください。

https://www.fujifilm.com/fb/download/software/dev_set_bu

インストール、アンインストール、バックアップの手順については、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

補足

- ・お使いの機種によってはあらかじめインストールされています。
- ・設定バックアップを完全にアンインストールするには、証明書もアンインストールする必要があります。

「デバイス設定バックアップサービス」への登録

クラウド接続で設定バックアップを使用するユーザーは、富士フィルムBIダイレクトのユーザー登録、および「デバイス設定バックアップサービス」への申し込みが必要です。

富士フィルム BI ダイレクトのユーザー登録

ユーザー登録は、富士フィルム BI ダイレクト (<https://www.fujifilm.com/fb/support/direct>) から行います。

「デバイス設定バックアップサービス」への申し込み

「デバイス設定バックアップサービス」への申し込みについては、弊社営業担当者にお問い合わせください。

4 バックアップ

バックアップできる設定情報

設定バックアップでバックアップできる主な設定情報は、次のとおりです。バックアップできる設定情報であっても、お使いの機器の状況によってバックアップできる項目は変更されます。

詳しくは、「バックアップファイル構成について」(P.25)を参照してください。

操作パネルの設定

- ・ システム設定
- ・ ネットワーク設定
- ・ アプリの表示 / カスタマイズ
- ・ アプリ設定
- ・ 認証 / 集計管理
- ・ アドレス帳
- ・ ボックス
- ・ 指示書
- ・ ユーザー情報
- ・ ピン留め
- ・ カスタマイズ

インターネットサービスの設定

- ・ ネットワーク設定

補足

- ・ 設定情報が次の場合、バックアップ情報を取得できません。
 - 複合機で利用されていないサービス
 - ユーザー情報 (外部認証 / カスタム認証動作時)
 - ジョブフロー (外部認証 / カスタム認証動作時)
 - ボックス (外部認証 / カスタム認証動作時)
- ・ デバイス設定編集ツールを利用すると、バックアップした設定情報の内容を編集できます。詳しくは、『デバイス設定編集ツール ユーザーガイド』を参照してください。

参照

- ・ その他の注意制限事項については、「注意と制限」(P.24)を参照してください。

クラウド接続でバックアップする

補足

- ・クラウド接続を提供していない国 / 地域があります。

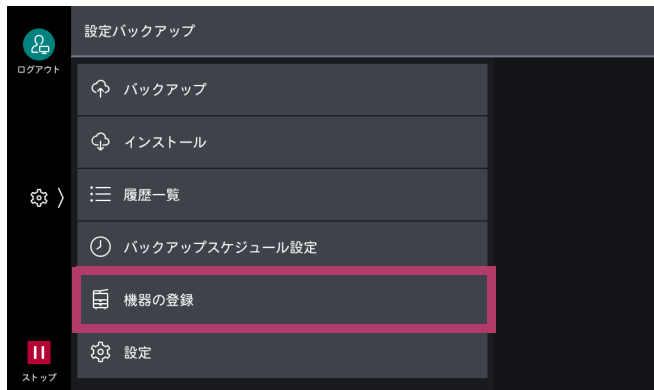
6d 参照

- ・クラウド接続でバックアップするための動作環境については、「動作環境」(P.6) を参照してください。

複合機を「デバイス設定バックアップサービス」に登録する

操作手順

- 1 複合機の操作パネルから、機械管理者モードに入ります。
- 2 アプリ画面で、[設定バックアップ] をタップします。
- 3 [機器の登録] をタップします。

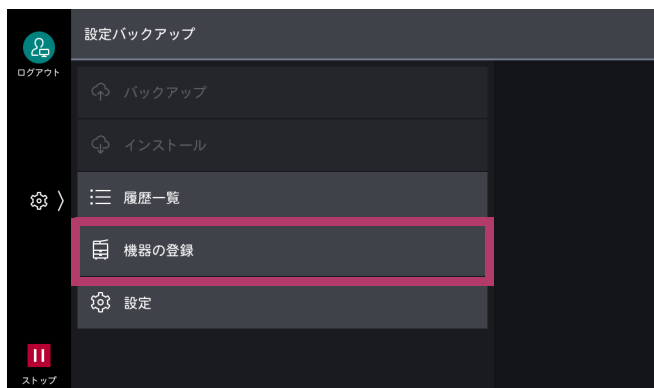


- 4 富士フィルム BI ダイレクトに登録したメールアドレスとパスワードを入力します。
本画面が表示されない場合は、手順 7 に進みます。
- 5 [OK] をタップします。
富士フィルム BI ダイレクトにログイン情報が送信されます。

補足

- ・証明書の検証エラーが表示されてクラウドに接続できない場合は、複合機のファームを最新にしてください。ファームの更新については、弊社営業担当者にお問い合わせください。

- 6 [機器の登録] をタップします。



- 7 確認画面で、[はい (登録する)] をタップします。

- 8** [閉じる] をタップします。
複合機が登録されると、設定バックアップのトップ画面に戻ります。

補足

- ・複合機の登録を解除する場合は、設定バックアップのトップ画面から [機器の登録解除] をタップして、表示される画面で [はい (解除する)] をタップします。

複合機の設定情報をバックアップする

操作手順

- 1 複合機のアプリ画面で、[設定バックアップ] をタップします。
- 2 [バックアップ] をタップします。



- 3 確認画面で、[はい (保存する)] をタップします。
- 4 [閉じる] をタップします。
設定情報が「デバイス設定バックアップサービス」に送信されます。
複合機のアプリ画面に戻ります。

バックアップ / インストールの状況を確認する (クラウド接続時)

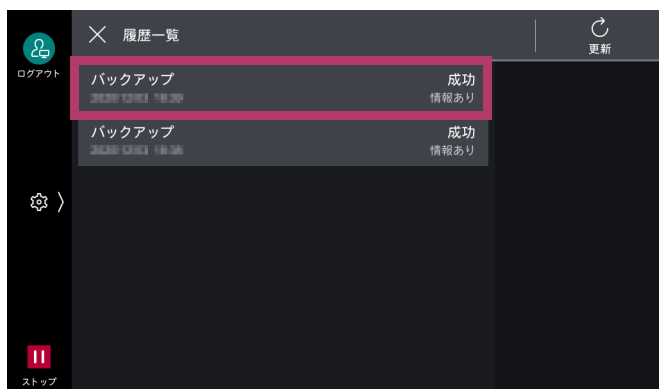
操作手順

- 1 複合機の操作パネルから、機械管理者モードに入ります。
- 2 アプリ画面で、[設定バックアップ] をタップします。
- 3 [履歴一覧] をタップします。



バックアップ / インストールの結果が表示されます。

4 バックアップまたはインストールの結果を確認します。
詳細情報を確認する場合は、確認したい項目をタップします。



各項目の詳細が表示されます。

例：バックアップ成功画面



「-」(ハイフン) は
バックアップされなかつ
たことを示します

バックアップされなかった項目には「-」、バックアップに失敗した項目には「失敗」が表示されます。

項目を選択すると詳細情報が表示されます。

5 確認が済んだら画面左上の [X] をタップします。
設定バックアップのトップ画面に戻ります。

オンプレミス接続でバックアップする

クラウド接続できないユーザー環境の場合、移行元の複合機から移行先の複合機に、LAN 経由で設定情報を移行します。

設定情報を保存するためのパスワードを設定する

オンプレミス接続では、設定情報を保存するためにパスワードを設定します。

ここで設定したパスワードは、インストール時にデータを参照したり、デバイス設定編集ツールを利用してバックアップした設定情報ファイルを編集したりするときに必要になります。

補足

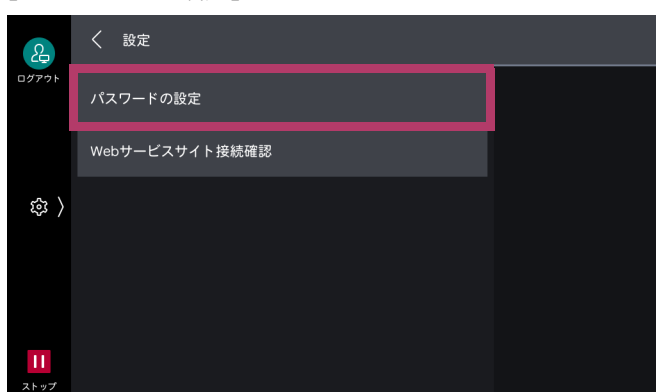
- ・デバイス設定編集ツールについては、『デバイス設定編集ツール ユーザーガイド』を参照してください。

操作手順

- 1 複合機の操作パネルから、機械管理者モードに入ります。
- 2 アプリ画面で、[設定バックアップ] をタップします。
- 3 [設定] をタップします。



- 4 [パスワードの設定] をタップします。



補足

- ・一度パスワードを設定したあとに再度 [パスワードの設定] 画面を表示した場合、パスワードに何も設定されていないように見えますが、正しく設定されています。設定画面を閉じるには左上の [X] をタップします。

- 5 パスワードを入力し、[OK] をタップします。

補足

- ・パスワードは 8 文字以上 32 文字以内で、英大文字、英小文字、数字を各 1 文字以上含めて入力してください。

設定バックアップのトップ画面に戻ります。

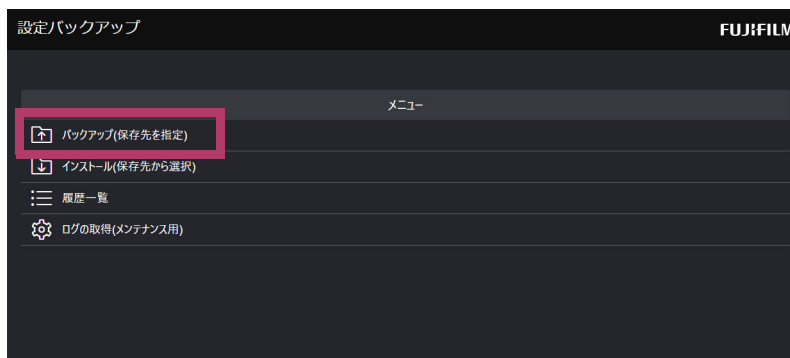
インターネットサービスでバックアップする

操作手順

- 1 ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に複合機のIPアドレスを入力し、<Enter>キーを押します。インターネットサービスが起動されます。
- 3 機械管理者モードに入ります。
- 4 [アプリ] をクリックし、[その他のアプリ] で [設定バックアップ] を選択します。
- 5 [利用プラグイン] で [表示] をクリックします。



- 6 [バックアップ (保存先を指定)] をクリックします。



- 7 設定情報ファイルを保存する画面が表示されるので、ファイル名と保存場所を指定します。

補足

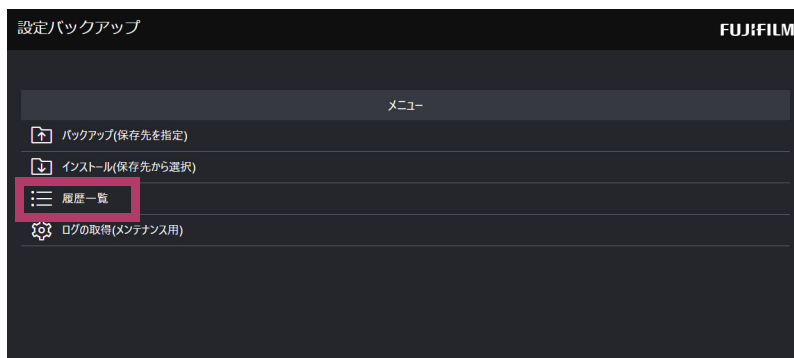
- ・設定情報ファイル名を設定しない場合、ファイル名はログイン情報に基づいて下記の規則で自動生成されます。

機種コード_機械番号_YYYYMMDDHHMMSS.dsh

バックアップ / インストール状況を確認する（オンプレミス接続時）

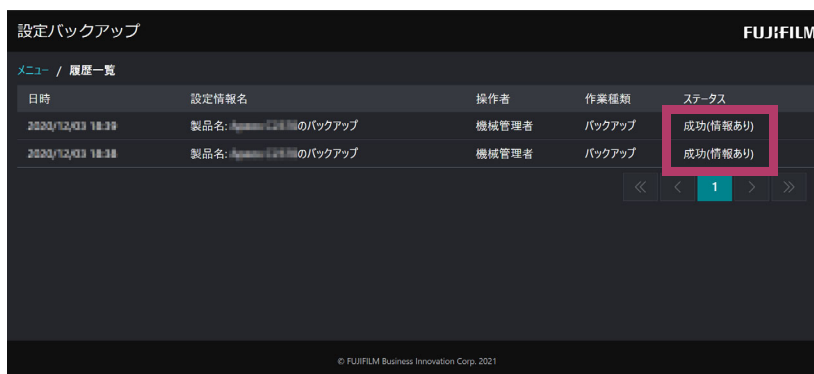
操作手順

- 1 設定バックアップのトップ画面で「履歴一覧」をクリックします。

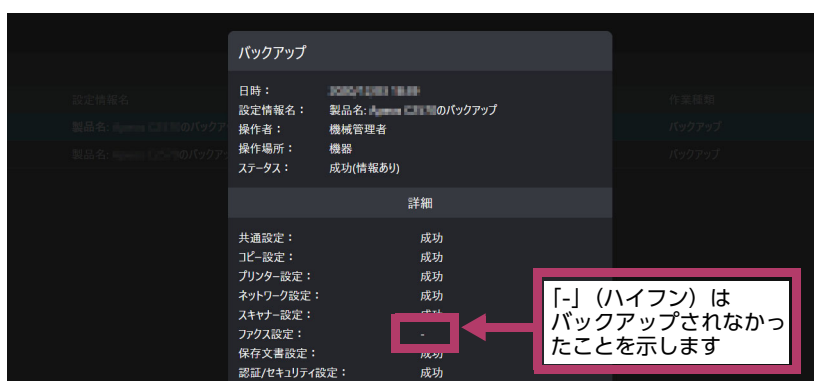


「履歴一覧」画面が表示されます。

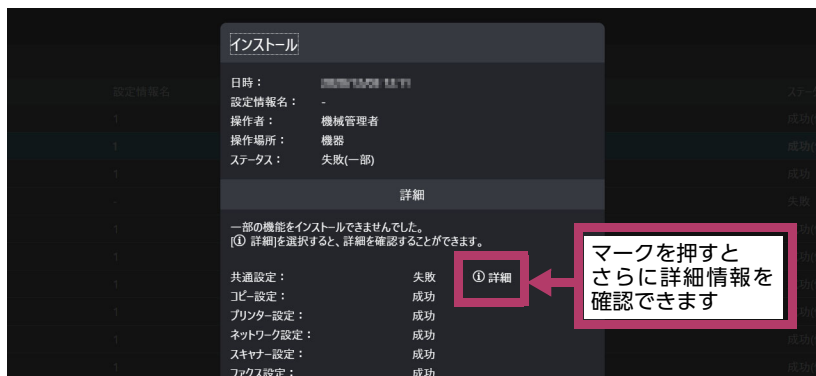
- 2 詳細を確認する場合は、右端の「成功（情報あり）」、「失敗（一部）」などをクリックします。



例：バックアップ成功画面



例：インストール失敗画面



複合機の設定情報を定期的にバックアップする

補足

- ・本機能はクラウド接続で利用できます。クラウド接続でバックアップするための動作環境については、「動作環境」(P.6)を参照してください。

複合機の設定を変更する

操作手順

- 1 ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に複合機のIPアドレスを入力し、<Enter>キーを押します。インターネットサービスが起動されます。
- 3 機械管理者モードに入ります。
- 4 [システム] > [システム設定] の [プラグイン設定] をクリックします。
- 5 [IoT Client Edge Plugin] の [⋮] をクリックし、[開始] をクリックします。



- 6 複合機を再起動します。

複合機を「デバイス設定バックアップサービス」に登録する

操作手順

- 1 複合機の操作パネルから、機械管理者モードに入ります。

2 アプリ画面で、[設定バックアップ] をタップします。

3 [機器の登録] をタップします。



4 富士フイルム BI ダイレクトに登録したメールアドレスとパスワードを入力します。
本画面が表示されない場合は、手順 7 に進みます。

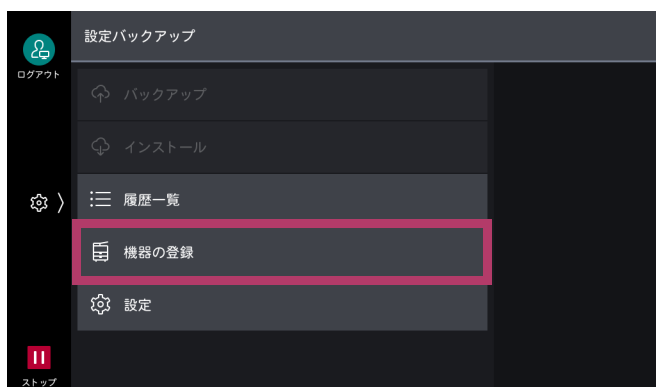
5 [OK] をタップします。

富士フイルム BI ダイレクトにログイン情報が送信されます。

補足

- ・ 証明書の検証エラーが表示されてクラウドに接続できない場合は、複合機のファームを最新にしてください。ファームの更新については、弊社営業担当者にお問い合わせください。

6 [機器の登録] をタップします。



7 確認画面で、[はい (登録する)] をタップします。

8 [閉じる] をタップします。

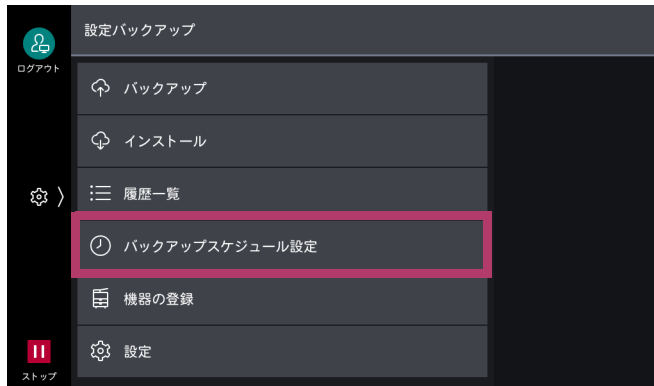
補足

- ・ 複合機の登録を解除する場合は、設定バックアップのトップ画面から [機器の登録解除] をタップして、表示される画面で [はい (解除する)] をタップします。

定期バックアップの設定をする

操作手順

1 [バックアップスケジュール設定] をタップします。



2 [時刻設定する (毎日)] を有効にして任意の時刻を設定し、[OK] をタップします。



設定バックアップのトップ画面に戻ります。

3 バックアップする時刻が表示されることを確認します。

ポーリングを設定する

ポーリングを設定すると、複合機はクラウド接続でバックアップ/インストールする指示がないか、定期的に問い合わせます。バックアップ指示を取得した場合、「デバイス設定バックアップサービス」に設定情報をアップロードします。インストール指示を取得した場合、「デバイス設定バックアップサービス」にアップロードされた設定情報を複合機にインストールします。

補足

- ・本機能はクラウド接続で利用できます。クラウド接続でバックアップするための動作環境については、「動作環境」(P.6)を参照してください。
- ・本機能を利用する場合は、あらかじめバックアップスケジュールを設定してください。設定方法は「定期バックアップの設定をする」(P.16)を参照してください。
- ・ポーリングで問い合わせる間隔は6時間に1回です。

操作手順

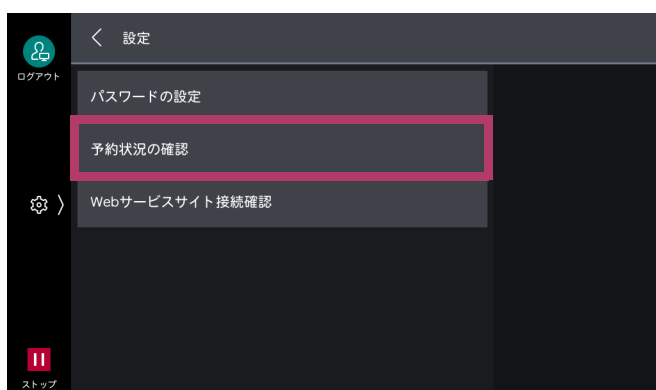
1 複合機の操作パネルから、機械管理者モードに入ります。

2 アプリ画面で、[設定バックアップ] をタップします。

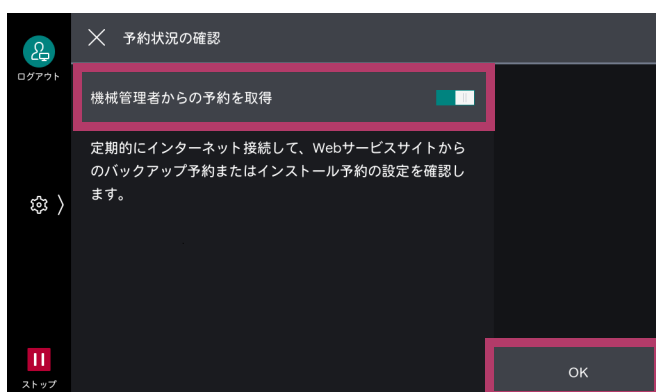
3 [設定] をタップします。



4 [予約状況の確認] をタップします。



5 [機械管理者からの予約を取得] を有効にして、[OK] をタップします。



5 インストール

インストールできる設定情報

設定バックアップでインストールできる主な設定情報は、次のとおりです。インストールできる設定情報であっても、お使いの機器の状況によってインストールできる項目は変更されます。設定項目については、「バックアップファイル構成について」(P.25)を参照してください。

補足

- ・お使いの機器が稼働中の場合、一部の項目のみがインストールされます。稼働していない新しい機器の場合、すべての項目がインストールされます。
- ・ユーザー情報、ボックス、指示書のいずれかが 1 つ以上でも登録されているとき、お使いの機器は稼働中と判定します。

参照

- ・その他の注意制限事項については、「注意と制限」(P.24)を参照してください。

操作パネルの設定

- ・ システム設定
- ・ ネットワーク設定
- ・ アプリの表示 / カスタマイズ
- ・ アプリ設定
- ・ 認証 / 集計管理
- ・ アドレス帳
- ・ ボックス
- ・ 指示書
- ・ ユーザー情報
- ・ ピン留め
- ・ カスタマイズ

インターネットサービスの設定

- ・ ネットワーク設定

補足

- ・ デバイス設定編集ツールを利用すると、インストールする設定情報の内容を編集できます。詳しくは、『デバイス設定編集ツール ユーザーガイド』を参照してください。

クラウド接続でインストールする

補足

- ・ クラウド接続を提供していない国 / 地域があります。
- ・ バックアップスケジュールの設定が有効の場合、インストールはできません。インストールするためには、バックアップスケジュール設定を解除してください。

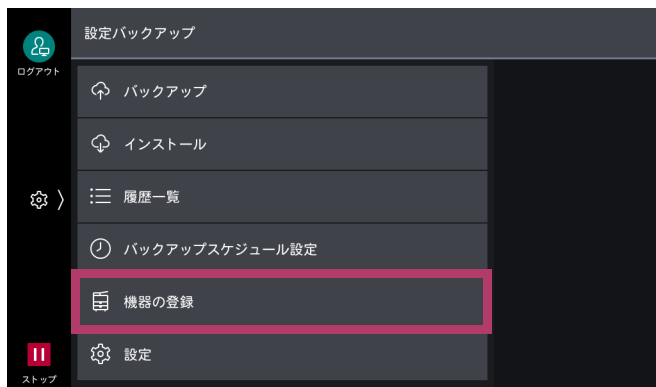
参照

- ・ クラウド接続でインストールするための動作環境については、「動作環境」(P.6)を参照してください。

複合機を「デバイス設定バックアップサービス」に登録する

操作手順

- 1 複合機の操作パネルから、機械管理者モードに入ります。
- 2 アプリ画面で、[設定バックアップ] をタップします。
- 3 [機器の登録] をタップします。



- 4 富士フィルム BI ダイレクトに登録したメールアドレスとパスワードを入力します。
本画面が表示されない場合は、手順 7 に進みます。

- 5 [OK] をタップします。
富士フィルム BI ダイレクトにログイン情報が送信されます。

補足

- ・ 証明書の検証エラーが表示されてクラウドに接続出来ない場合は、複合機のファームを最新にしてください。ファームの更新については、弊社営業担当者にお問い合わせください。

- 6 [機器の登録] をタップします。
- 7 確認画面で、[はい (登録する)] をタップします。

- 8 [閉じる] をタップします。
複合機が登録されると、設定バックアップのトップ画面に戻ります。

補足

- ・ 複合機の登録を解除する場合は、設定バックアップのトップ画面から [機器の登録解除] をタップして、表示される画面で [はい (解除する)] をタップします。

複合機の設定情報をインストールする

操作手順

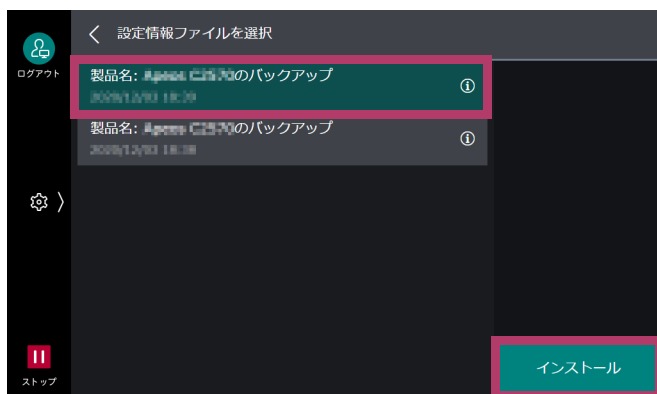
1 設定バックアップのトップ画面で【インストール】をタップします。



補足

- ・バックアップスケジュールの設定が有効の場合、インストールはできません。インストールするためには、バックアップスケジュール設定を解除してください。

2 インストールする設定情報ファイルを選択し、【インストール】をタップします。



補足

- ・設定情報の右の ⓘ をタップすると、バックアップした日時や操作場所などの詳細情報を確認できます。

3 確認画面で、【はい (インストールする)】をタップします。

インストールが開始されます。

インストールが終了すると複合機は再起動し、メニュー画面に戻ります。

インストール状況を確認する

6d 参照

- ・確認方法は、「バックアップ/インストールの状況を確認する (クラウド接続時)」(P.9) を参照してください。

オンプレミス接続でインストールする

クラウド接続できないユーザー環境の場合、移行元の複合機から移行先の複合機に、LAN 経由で設定情報を移行します。

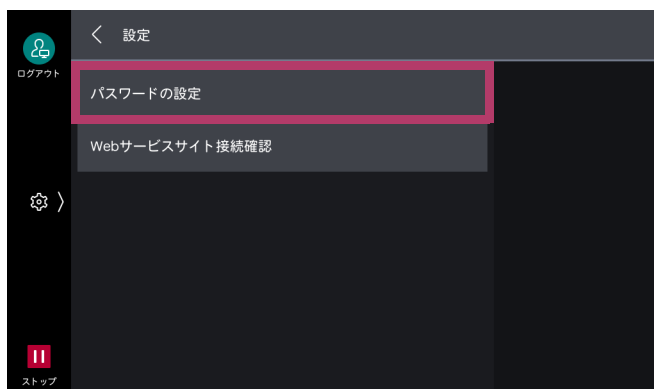
データを参照するためのパスワードを入力する

操作手順

- 1 複合機の操作パネルから、機械管理者モードに入ります。
- 2 アプリ画面で、[設定バックアップ] をタップします。
- 3 [設定] をタップします。



- 4 [パスワードの設定] をタップします。



- 5 オンプレミス接続でバックアップするときに設定したパスワードを入力し、[OK] をタップします。

補足

- ・一度パスワードを設定したあとに再度 [パスワードの設定] 画面を表示した場合、パスワードに何も設定されていないように見えますが、正しく設定されています。設定画面を閉じるには左上の [X] をタップします。

インターネットサービスでインストールする

操作手順

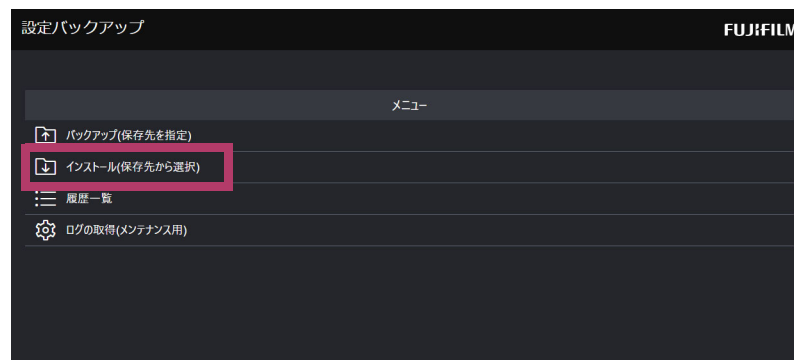
- 1 ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス欄に、お使いの複合機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力します。

インターネットサービスが起動されます。

- 3 機械管理者モードに入ります。
- 4 [アプリ] をクリックし、[その他のアプリ] で [設定バックアップ] を選択します。
- 5 [利用プラグイン] で [表示] をクリックします。



- 6 [インストール (保存先から選択)] をクリックします。



- 7 [設定情報ファイル] の入力ボックスまたは [選択] をクリックして、バックアップした設定情報ファイルの保存場所とファイル名を指定します。

補足

- ・設定情報ファイルの拡張子は「.dsh」です。

- 8 [インストール] をクリックします。
- 9 確認画面で、[インストール] をクリックします。
インストールが開始されます。
インストールが終了すると、複合機は再起動します。

インストール状況を確認する

6D 参照

- ・確認方法は、「バックアップ / インストール状況を確認する (オンプレミス接続時)」(P.13) を参照してください。

ポーリングを設定する


ポーリングを設定すると、複合機はクラウド接続でバックアップ/インストールする指示がないか定期的に問い合わせます。バックアップ指示を取得した場合、クラウドの「デバイス設定バックアップサービス」上に設定情報をアップロードします。インストール指示を取得した場合、「デバイス設定バックアップサービス」にアップロードされた設定情報を複合機にインストールします。

参照

- ・設定方法は、「ポーリングを設定する」(P.16)を参照してください。

6 付録

注意と制限

- 外部認証 / カスタム認証動作時は、ボックス / 指示書 / ユーザー情報は対象外となります。
- [外部認証] / [カスタム認証] のユーザー情報は設定バックアップの対象外ですが、アプリ画面の  > [アプリの表示カスタマイズ] で設定した内容に含まれているユーザー情報が書き込まれることがあります。
- 異なる機種、同じ機種でも構成が異なる機種間では設定を移行できない場合があります。
- インストール先の複合機に ScanToOffice オプションがない場合、スキャン設定の出力ファイル形式が正しく設定されない場合があります。その場合は、複合機に合わせた出力ファイル形式に変更してから利用してください。
- 外部認証が有効な複合機の設定を外部認証が無効な複合機にインストールした場合、認証モードの設定が適切に設定されません。インストール後に複合機に合わせた認証モードに変更してからご利用ください。
- ホスト名に全角文字が含まれていた場合、インストール後の複合機では正しく表示されない場合があります。その場合はホスト名から全角文字を削除すれば正しく表示されるようになります。
- 証明書はバックアップの対象外です。インストール先の複合機に必要な証明書はあらかじめインストールしてから設定バックアップをご利用ください。
- バックアップしたデータを異なる機種にインストールした場合、すべての設定が引き継がれないことがあります。例えば、A3 複合機でバックアップしたデータを A4 複合機にインストールした場合、用紙サイズは「A3」から「A4」に読み替えられてインストールされます。
- 上位機種で作成したジョブフローが、下位機種と互換性のない機能アイテム（例：スキャン）を含む場合、そのジョブフローを下位機種に移行しても、元のジョブフローを作成したツールを使って編集することはできず、下位機種から実行することもできません。
- ApeosPort シリーズの [ワンタッチアプリ]、[プリセット]、[カスタマイズ] に対応している機種でこれらの機能を設定している場合、Apeos シリーズにこの設定は移行できません。
- 日本国外のお客様は集計管理モードを [Xerox Standard Accounting] に設定している複合機（旧富士ゼロックス社製）では、設定バックアップを利用できません。
- 一度インストールした項目をすべて上書きしたい場合、ユーザー情報、ボックス、指示書をすべて削除してからインストールしてください。

バックアップファイル構成について

操作パネルの設定項目

カテゴリ	設定項目	備考
アプリの表示 / カスタマイズ	アプリの表示 / カスタマイズ > コピー > 初期値設定 > カラーモード	
	アプリの表示 / カスタマイズ > スキャン送信 > 初期値設定 > カラーモード	
	アプリの表示 / カスタマイズ > スキャン送信 > 初期値設定 > ミックスサイズ原稿送り	
	アプリの表示 / カスタマイズ > スキャン送信 > 初期値設定 > 原稿の画質	
	アプリの表示 / カスタマイズ > スキャン送信 > 初期値設定 > 出力ファイル形式 > 1 ページずつ分割	
	アプリの表示 / カスタマイズ > スキャン送信 > 初期値設定 > 出力ファイル形式 > PDF > 圧縮方式 > ユーザー指定 > グレースケール / カラーページ / 背景部分	
	アプリの表示 / カスタマイズ > スキャン送信 > 初期値設定 > 出力ファイル形式 > 圧縮方式	
	アプリの表示 / カスタマイズ > スキャン送信 > 初期値設定 > 出力ファイル形式 > 圧縮方式 > 白黒ページ / 文字部分	
	アプリの表示 / カスタマイズ > スキャン送信 > 初期値設定 > 出力ファイル形式 > 出力ファイル形式	
	アプリの表示 / カスタマイズ > スキャン送信 > 初期値設定 > 読み取り解像度	
	ネットワーク設定	EP プロキシサーバー設定 > HTTPS プロキシサーバー - サーバー名
EP プロキシサーバー設定 > HTTPS プロキシサーバー - ポート番号		
EP プロキシサーバー設定 > HTTPS プロキシサーバー - ログイン名		
EP プロキシサーバー設定 > HTTPS プロキシサーバー - 認証		
EP プロキシサーバー設定 > プロキシサーバー指定方法		
プロキシサーバー設定 > HTTP プロキシサーバー - サーバー名		
プロキシサーバー設定 > HTTP プロキシサーバー - ポート番号		
プロキシサーバー設定 > HTTP プロキシサーバー - ログイン名		
プロキシサーバー設定 > プロキシサーバの使用		
プロキシサーバー設定 > プロキシサーバ設定取得方法		
プロキシサーバー設定 > プロキシを使用しないアドレス		
ポート設定 > Bonjour > 起動		
ポート設定 > FTP クライアント > 起動		
ポート設定 > IPP > 起動		
ポート設定 > IPP > ポート番号		
ポート設定 > LPD- セッション数		
ポート設定 > LPD- ポート > 起動		
ポート設定 > LPD- ポート番号		
ポート設定 > Port9100 > ポート番号		
ポート設定 > Port9100 > 起動		
ポート設定 > SIP > ポート番号		

カテゴリ	設定項目	備考
ネットワーク設定	ポート設定> SIP > 起動	
	ポート設定> SMB クライアント> 起動	
	ポート設定> ThinPrint	
	ポート設定> ThinPrint > ポート番号	
	ポート設定> UPnP ディスカバリー	
	ポート設定> UPnP ディスカバリー> ポート番号	
	ポート設定> USB-Adobe 通信プロトコル	
	ポート設定> USB-JCL	
	ポート設定> USB- 自動排出時間	
	ポート設定> USB- プリントモード指定	
	ポート設定> USB- ポート> 起動	
	ポート設定> WebDAV	
	ポート設定> WebDAV > ポート番号	
	ポート設定> WebDAV > 操作の時間制限	
	ポート設定> WSD > WSD スキャン・ポート> 起動	
	ポート設定> WSD > WSD プリント・ポート> 起動	
	ポート設定> WSD > WSD ポート番号	
	ポート設定> メール受信> 起動	
	ポート設定> メール送信> 起動	
	ポート設定> メール通知サービス	
	メール送受信設定> POP3 サーバー設定> POP3 サーバー - サーバー名/ アドレス	
	メール送受信設定> POP3 サーバー設定> POP3 サーバー - 受信間隔	
	メール送受信設定> POP3 サーバー設定> POP3 サーバー - ポート番号	
	メール送受信設定> POP3 サーバー設定> POP3 サーバー - ログイン名	
	メール送受信設定> SMTP サーバー設定> SMTP サーバー - サーバー名/ アドレス	
	メール送受信設定> SMTP サーバー設定> 送信時の認証方式	
	メール送受信設定> SMTP サーバー設定> 送信時の認証ユーザ	
	メール送受信設定> SMTP サーバー設定> SMTP サーバー - ポート番号	
	メール送受信設定> SMTP サーバー設定> SMTP AUTH - ログイン名	
	その他の設定> メール受信プロトコル	
	外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定> LDAP サーバー / ディ レクトリーサービス設定>サーバーのソフトウェア	
	外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定> LDAP サーバー / ディ レクトリーサービス設定>プライマリーサーバー - 名前 / アドレス	
	外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定> LDAP サーバー / ディ レクトリーサービス設定>セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス	
	外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定> LDAP サーバー / ディ レクトリーサービス設定>入力ユーザー名の属性	
	外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定> LDAP サーバー / ディ レクトリーサービス設定>認証方式	

カテゴリ	設定項目	備考
ネットワーク設定	外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定 > 認証システムの設定 > 認証システム	
	外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定 > LDAP サーバー / ディレクトリーサービス設定 > 検索用ログイン名	
	外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定 > LDAP サーバー / ディレクトリーサービス設定 > 検索起点エントリー (DN)	
	本体メールアドレス / ホスト名 > ドメイン名	
	本体メールアドレス / ホスト名 > ドメイン名 (LAN2)	注 1
	本体メールアドレス / ホスト名 > ホスト名	注 2
	本体メールアドレス / ホスト名 > メールアドレス	注 2
	本体メールアドレス / ホスト名 > 名前	注 2
システム設定	レポート設定 > 通信管理レポート	注 3
	レポート設定 > ジョブフローエラーレポート	
	レポート設定 > ジョブ履歴レポート	
	レポート設定 > 未送信レポート	注 3
	レポート設定 > 取消し文書の未送信レポート	注 3
	レポート設定 > 親展受信レポート	
	レポート設定 > 通信管理レポート - 相手表示	注 3
	レポート設定 > 転送モニターレポート	
	レポート設定 > 同報 / 集信レポート	注 3
	画面 / ボタンの設定 > USB メモリー検出時の画面表示	
	画面 / ボタンの設定 > キーボード入力制限	
	画面 / ボタンの設定 > セキュリティ警告 - SNMP 設定	
	画面 / ボタンの設定 > セキュリティ警告 - グローバル IP アドレス	
	画面 / ボタンの設定 > セキュリティ警告 - 機械管理者設定	
	画面 / ボタンの設定 > 宛先確認 - ファクス / インターネットファクス	注 3
	画面 / ボタンの設定 > 宛先確認 - メール	
	画面 / ボタンの設定 > 自動リセット後の画面	
	画面 / ボタンの設定 > ホームの初期表示画面	
	画面 / ボタンの設定 > 消耗品情報画面の表示	
	システム時計 / タイマー設定 > 日付	
	システム時計 / タイマー設定 > 時刻	
	システム時計 / タイマー設定 > 時刻サーバー (NTP) との同期	
	システム時計 / タイマー設定 > 時刻サーバーの接続間隔	
	システム時計 / タイマー設定 > 時刻サーバーアドレス	
	システム時計 / タイマー設定 > 自動リセット	
	システム時計 / タイマー設定 > ジョブ自動解除	
	システム時計 / タイマー設定 > プリント起動	
	節電モードの設定 > 節電モード移行時間 > スリープ	
	節電モードの設定 > 節電モード移行時間 > 低電力	
	節電モードの設定 > 自動プリント後の節電モード移行	

カテゴリ	設定項目	備考
システム設定	節電モードの設定>スリープモード設定	
	節電モードの設定>節電解除の制御	
	節電モードの設定> Smart WelcomEyes	
	節電モードの設定> Smart WelcomEyes による節電制御	注 9
	音の設定>音の種類	
	音の設定>正常入力音	
	音の設定>異常入力音	
	音の設定>準備完了音	
	音の設定>正常終了音	
	音の設定>正常終了音(受信回線 1)	
	音の設定>正常終了音(受信回線 1)>受信プリント	
	音の設定>正常終了音(受信回線 1)>親展受信	
	音の設定>正常終了音(受信回線 2)	注 10
	音の設定>正常終了音(受信回線 2)>受信プリント	注 10
	音の設定>正常終了音(受信回線 2)>親展受信	注 10
	音の設定>正常終了音(受信回線 3)	注 10
	音の設定>正常終了音(受信回線 3)>受信プリント	注 10
	音の設定>正常終了音(受信回線 3)>親展受信	注 10
	音の設定>異常終了音	
	音の設定>自動リセット事前通知音	
	音の設定>異常警告音	
	音の設定>用紙切れ警告音	
	音の設定>トナー残量警告音	
	音の設定>エラー解除通知音	
	音の設定>ログイン音	
	音の設定>起動/終了音	
	音の設定>モバイル端末の接続音	
	音の設定>ラインモニター音	
	音の設定>呼び出しベル音	
	画面/ボタンの設定>初期表示設定	
	画面/ボタンの設定>ワンタッチボタンの表示	
	画面/ボタンの設定>コントロールメニューの機能配置 1	
	画面/ボタンの設定>コントロールメニューの機能配置 2	
	画面/ボタンの設定>コントロールメニューの機能配置 3	
	画面/ボタンの設定>コントロールメニューの機能配置 4	
	画面/ボタンの設定>コントロールメニューの機能配置 5	
	画面/ボタンの設定>コントロールメニューの機能配置 6	
	画面/ボタンの設定>コントロールメニューの機能配置 7	
	画面/ボタンの設定>コントロールメニューの機能配置 8	
	画面/ボタンの設定>コントロールメニューの機能配置 9	
	画面/ボタンの設定>コントロールメニューの機能配置 10	

カテゴリ	設定項目	備考
アプリ設定	ファクス設定>自局情報>回線 1 G3 ID (ファクス番号)	注 2 注 3 注 4
	ファクス設定>自局情報>回線 1 G3 ダイヤル種別	注 2 注 3 注 4
	ファクス設定>自局情報>回線 1 発信元名	注 2 注 3 注 4
	ファクス設定>自局情報>回線 2 G3 ID (ファクス番号)	注 2 注 3 注 4
	ファクス設定>自局情報>回線 2 G3 ダイヤル種別	注 2 注 3 注 4
	ファクス設定>自局情報>回線 2 発信元名	注 2 注 3 注 4
	ファクス設定>自局情報>回線 3 G3 ID (ファクス番号)	注 2 注 3 注 4
	ファクス設定>自局情報>回線 3 G3 ダイヤル種別	注 2 注 3 注 4
	ファクス設定>自局情報>回線 3 発信元名	注 2 注 3 注 4
	ファクス設定>ファクス動作制御>宛先の再入力	注 3 注 4
	ファクス設定>ファクス動作制御>再入力必要時の同報指示	注 3 注 4
	ファクス設定>ファクス動作制御>再入力時のグループ宛先指示	注 3 注 4 注 11
	ファクス設定>ファクス動作制御>宛先種別フィルタリング	注 3 注 4
	ファクス設定>ファクス動作制御>受信回線別ボックスセレクト	注 3 注 4
	ファクス設定>ファクス動作制御>ダイレクトファクスの使用	注 3 注 4
	ファクス設定>インターネットファクス動作制御>宛先種別フィルタリング	注 3 注 4
	ファクス設定>自局情報>自局名	注 2 注 3 注 4
	ファクス設定>自局情報>発信元名	注 2 注 3 注 4
	ファクス設定>受信文書の保存先 / 排出先>受信回線別ボックスセレクト >回線 1 の保存先	注 3 注 4

カテゴリ	設定項目	備考
アプリ設定	ファクス設定>受信文書の保存先 / 排出先>受信回線別ボックスセレクト >回線 2 の保存先	注 3 注 4
	ファクス設定>受信文書の保存先 / 排出先>受信回線別ボックスセレクト >回線 3 の保存先	注 3 注 4
	ファクス設定>受信文書の保存先 / 排出先>受信回線別ボックスセレクト >回線 0 (内線) の保存先	注 3 注 4
	ファクス設定>受信文書の保存先 / 排出先>受信回線別排出先>回線 1 の 排出先	注 3 注 4
	ファクス設定>受信文書の保存先 / 排出先>受信回線別排出先>ポーリン グ予約ボックスの排出先	注 3 注 4
	ファクス設定>受信文書の保存先 / 排出先>受信回線別排出先>回線 2 の 排出先	注 3 注 4
	ファクス設定>受信文書の保存先 / 排出先>受信回線別排出先>回線 3 の 排出先	注 3 注 4
	プリンター設定>メモリー設定>受信バッファ-LPD>スプールしない> メモリー量 (KB)	
	プリンター設定>メモリー設定>受信バッファ-LPD>スプール方式 (す る・しない下と同時)	
	プリンター設定>メモリー設定>受信バッファ-IPP>スプールする / し ない	
	ボックス操作設定>プリント時の削除確認画面表示	
	プリンター設定>その他の設定>用紙の置き換え	
	プリンター設定>その他の設定>用紙種類不一致時の処理	
	スキャン送信設定>メール送信動作制御>送達確認メールの自動プリント	
	スキャン送信設定>メール送信動作制御>1 通ごとのデータサイズ上限	
	スキャン送信設定>メール送信動作制御>分割送信時の分割数上限	
	スキャン送信設定>その他の設定>URL 送信の文書保存期間	
	スキャン送信設定>その他の設定>URL 送信の URL 生成方法	
	ボックス操作設定>ボックス文書の削除時刻 (時)	
	ボックス操作設定>ボックス文書の削除時刻 (分)	
	ボックス操作設定>ボックス文書の保存期間	
	ボックス操作設定>ボックス文書の保存期間 (日数)	
	外部アクセス設定>接続先の登録>外部アクセスサーバー 1	
	外部アクセス設定>接続先の登録>外部アクセスサーバー 2	
	Web ブラウザー設定>外部アクセスバージョンの選択	
	Web ブラウザー設定>Cookie の使用	
	認証 / 集計管理	認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>コピー
認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>ジョブフロー		注 5
認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>PC 保存		
認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>URL 送信		
認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>USB 保存		
認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>WSD スキャン		
認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>ボックス保存		

カテゴリ	設定項目	備考
認証 / 集計管理	認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>メール送信	
	認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>ファクス / インターネットファクス	
	認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>プリンター	
	認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>ボックス操作	
	認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>外部アクセス	注 6
	認証の設定>アクセス制御>サービスへのアクセス>文書プリント	
	認証の設定>アクセス制御>デバイスへのアクセス	
	認証の設定>アクセス制御>機能の使用制限>カラーコピーの使用	
	認証の設定>アクセス制御>機能の使用制限>ボックスからのプリント	
	認証の設定>アクセス制御>機能の使用制限>ボックスからの外部取り出し	
	認証の設定>認証情報の設定>認証時の User ID 文字種	
	認証の設定>不正使用防止の設定>認証回数制限 - 機械管理者	
	認証の設定>不正使用防止の設定>認証回数制限 - 一般ユーザー	
	認証の設定>パスワードの運用>パスワードの使用 - パネル入力時	
	認証の設定>パスワードの運用>パスワードの使用 - IC カード認証時	注 8
	認証の設定>認証 / プライベートプリントの設定>出力時の PDL 命令制御	
	認証の設定>認証 / プライベートプリントの設定 - 受信制御	
	認証の設定>認証方式の設定	
	ジョブ操作の設定>実行中 / 待ちジョブの表示設定	
	ジョブ操作の設定>実行完了ジョブの表示設定	
	ショートカット一覧	ショートカット一覧>設定のショートカット 0
ショートカット一覧>設定のショートカット 1		
ショートカット一覧>設定のショートカット 2		
ショートカット一覧>設定のショートカット 3		
ショートカット一覧>設定のショートカット 4		
ショートカット一覧>設定のショートカット 5		
ショートカット一覧>設定のショートカット 6		
ショートカット一覧>設定のショートカット 7		
ショートカット一覧>設定のショートカット 8		
ショートカット一覧>設定のショートカット 9		
ショートカット一覧>設定のショートカット 10		
ショートカット一覧>設定のショートカット 11		
ショートカット一覧>設定のショートカット 12		
ショートカット一覧>設定のショートカット 13		
ショートカット一覧>設定のショートカット 14		
ショートカット一覧>設定のショートカット 15		
ショートカット一覧>設定のショートカット 16		
ショートカット一覧>設定のショートカット 17		

カテゴリ	設定項目	備考
ショートカット一覧	ショートカット一覧>設定のショートカット 18	
	ショートカット一覧>設定のショートカット 19	
アドレス帳	アドレス帳データ	
	アドレス帳設定>登録番号の表示	
	アドレス帳設定>初期表示画面 - ファクス	
	アドレス帳設定>初期表示画面 - スキャナー	
ボックス	親展ボックスの名前	注 7
	親展ボックスのパスワード	注 7
	パスワードが有効な操作	注 7
	文書取り出し後の文書自動削除の設定	注 7
	期限による文書の自動削除の設定	注 7
	関連付けられている指示書を文書格納時に起動する / しない	注 7
	親展ボックスの所有者	注 7
指示書	ジョブフロー	注 7
	保存されたジョブフロー設定	注 7
	親展ボックスに関連付けされたジョブフロー設定	注 7
ユーザ情報	ユーザー名	注 7 注 8
	ユーザーのパスワード	注 7 注 8
	役割	注 7 注 8
	カード ID	注 7 注 8
	サービスの利用権限	注 7 注 8
	メールアドレス	注 7 注 8
カスタマイズ	ユーザーがカスタマイズした設定情報	注 7
	ピン留め	注 7

注 1 セカンダリユーザが有効な場合のみ、対象となります。

注 2 複数の複合機に設定する場合、同じ設定情報が複製されます。このため、インストール後は各複合機に合わせて、適切な設定値に修正してください。

注 3 FAX が有効な場合のみ対象となります。

注 4 SIP ファクスのみが有効の場合、ファクス設定はバックアップされません。

注 5 「スキャナーキット」オプションが必要な複合機は対象外です。

注 6 外部アクセスキットが必要です。

注 7 外部認証 / カスタム認証が動作している場合を除きます。

注 8 認証モードが本体認証時のみ対象となります。

注 9 稼働している場合のみ対象となります。

注 10 オプションがある場合のみ対象となります。

注 11 「グループ宛先禁止」を選択している場合は対象外です。



・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

インターネットサービスの設定項目

カテゴリ	設定項目	備考
ネットワーク設定	プロトコル設定 > POP3 > Microsoft Entra エンドポイント設定 > ホスト名	
	プロトコル設定 > POP3 > Microsoft Entra エンドポイント設定 > デバイスコードパス	
	プロトコル設定 > POP3 > Microsoft Entra エンドポイント設定 > トークンパス	
	プロトコル設定 > POP3 > Exchange Online/Outlook.com POP クライアント設定 > テナント	
	プロトコル設定 > POP3 > Exchange Online/Outlook.com POP クライアント設定 > クライアント ID	
	プロトコル設定 > POP3 > Exchange Online/Outlook.com POP クライアント設定 > スコープ	
	プロトコル設定 > POP3 > Exchange Online/Outlook.com (OAuth2.0 認証時のみ使用) > サーバーアドレス	
	プロトコル設定 > POP3 > Exchange Online/Outlook.com (OAuth2.0 認証時のみ使用) > ポート番号	
	プロトコル設定 > SMTP > Exchange Online/Outlook.com (OAuth2.0 認証時のみ使用) > サーバー設定 > サーバーアドレス	
	プロトコル設定 > SMTP > Exchange Online/Outlook.com (OAuth2.0 認証時のみ使用) > サーバー設定 > 送信ポート番号 (メール / インターネットファクス)	
	プロトコル設定 > SMTP > Microsoft Entra エンドポイント設定 > ホスト名	
	プロトコル設定 > SMTP > Microsoft Entra エンドポイント設定 > デバイスコードパス	
	プロトコル設定 > SMTP > Microsoft Entra エンドポイント設定 > トークンパス	
	プロトコル設定 > SMTP > Exchange Online/Outlook.com SMTP クライアント設定 > テナント	
	プロトコル設定 > SMTP > Exchange Online/Outlook.com SMTP クライアント設定 > クライアント ID	
	プロトコル設定 > SMTP > Exchange Online/Outlook.com SMTP クライアント設定 > スコープ	
	モバイルプリント設定 > Universal Print > Universal Print クライアント設定 > クライアント ID	
	モバイルプリント設定 > Universal Print > Universal Print クライアント設定 > テナント名	
	モバイルプリント設定 > Universal Print > Universal Print クライアント設定 > スコープ	
	モバイルプリント設定 > Universal Print > Universal Print 登録先設定 > ホスト名	
	モバイルプリント設定 > Universal Print > Universal Print 登録先設定 > エンドポイントパス	
	モバイルプリント設定 > Universal Print > 有効	